

ぶんかざい おおた

第1号

平成 10 年 10 月 15 日発行
東京都大田区教育委員会
社会教育課文化財係
〒144-8623
大田区蒲田5-13-14
Tel 03(5744)1449
fax 03(5744)1539

「ぶんかざい おおた」発行にあたって

大田区には、現在、国の指定文化財 39 件、都指定文化財 27 件、区指定文化財が 120 件あります。このほか、「埋蔵文化財包蔵地」といって、現在わかっている遺跡の数は 200 件以上にのぼります。

文化財係では、これら文化財の保護と活用を目的として、「調査や報告書の発行」、「保存事業の実施」、「地域歴史めぐり」、「講演会」等を行っています。また、埋蔵文化財の発掘届や発見届を受け付けています。こうした情報を区民の皆さまに広くお知らせして、国民の共有財産である「文化財」の保護に、なお一層のご協力を賜りますよう、お願い申し上げます。第 1 号発行のごあいさつといたします。

平成 9 年度より大田区文化財保存事業がはじまりました。

大田区教育委員会では、文化財保存事業として平成 9 年度より文化財所有者に対し、修理等の保存事業の必要が生じた場合に、補助金を交付することとなりました。平成 9 年度に行われた保存事業は下記のとおりです。

★区指定文化財 弘法大師坐像（密蔵院） 解体修理

この像は寛永 7 年(1630)に造立されました。今回、寄木造りの接合部にゆるみが生じていたため、解体修理を行いました。御像・台座ともに彩色の剥落止めを施し、彩色の欠失部は顔料で着色し、古色仕上げをしました。

★区指定文化財 しいの古木（原田方） 樹体保護

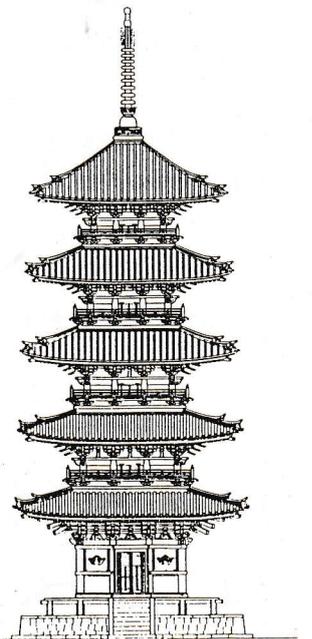
この木は樹齢を経た巨大な「しい」で、俗に「大葉しい」と呼ばれます。樹高 15 m、古くは一本の大木であったものが下部から幹が株立状に 19 本に分かれています。近年、腐朽が全体的に広がり、空洞化して、根本から倒木する危険性が生じてきました。このため、傾斜した大枝部全てに支柱を設置し、樹体保護を行いました。

★国指定重要文化財 本門寺五重塔 解体修理（国庫補助事業）

この塔は関東最古の五重塔で、慶長 12 年(1607)に建立されました。創建以来約 400 年を経て、破損が著しく進んでいたため、平成 9 年度より五カ年の計画で国庫補助事業として全解体修理が行われています。現在、解体作業を進めながら、破損や腐朽の状況、実測調査等が行われ、現況が記録されています。

◇平成 10 年度保存事業◇

- ・大日如来坐像（金剛院） 燻蒸
- ・海難供養塔（大森東一丁目）
保存・修復
- ・妙見菩薩立像（照栄院） 燻蒸
- ・社殿（久が原東部八幡神社）
虫菌害防除



文化財調査報告

§ 指定文化財調査 § 区内の120件の区指定文化財は、昭和48年度から50年度にかけて指定されたものです。区は平成元年度から12年度にかけて指定文化財の基礎資料を整えるため、調査を行っています。今までの調査の中からいくつかをご紹介します。

阿弥陀如来及び両脇侍立像 (萬福寺)

(平成6年度調査) 南馬込 1-49-1
萬福寺の本尊で、善光寺式阿弥陀三尊像です。現存する鑄銅製の善光寺式の像としては、中尊像高87.3cmという大きさを誇る希有の優品です。鑄造技術も周到で、像の形式から鎌倉時代中ごろに製作されたと推定されます。

富士塚 (羽田神社)

(平成4年度調査) 本羽田 3-9-12
富士塚とは、富士講の人々が築いた人工の富士山です。かつて山開きのときや、富士登山ができないときに代わりにこの塚に上りました。俗に「羽田富士」と呼ばれるこの塚は、江戸後期あるいは明治初期に築かれたと伝えられます。今回の調査では、富士塚の実測図作成と、石塔調査を行いました。「大田区の文化財第31集 有形民俗文化財とその周辺」に調査成果掲載。

社殿彫刻 (御嶽神社)

(平成8年度調査) 北嶺町 37-20
区内の神社社殿の中で、建築年代が江戸時代にさかのぼるものはわずか4棟で、御嶽神社もその一つです。今回の調査により、本殿壁面の彫刻の銘文、神社所蔵の文書が発見されました。本殿の周囲に施されたみごとな浮彫彫刻は、社殿と同時期の天保2年(1831)に、藤原篤意により製作されたと伝えられ、浦島太郎、養老の滝、司馬温公甕割りなど、和漢の物語、故事にちなんだものとなっています。

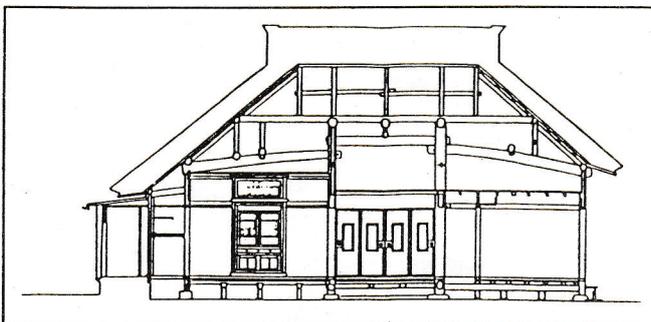


▲図 平成8年度指定文化財調査報告書より

§ 指定外文化財調査 § 民家調査 守半本店母屋 (平成8年度調査) 大森北3丁目

大田区に残る歴史的建造物のうち、貴重な地域固有の特徴を備えた民家を取り壊されることとなり、記録保存を行うため、調査が行われました。

「守半のり」として親しまれる守屋家は、大森の旧家です。万延元年以前に建てられたと伝えられます。建築の様式等から江戸時代後期の建物と推定されます。以前は農家の建物でしたが、明治中期から海苔加工を営むようになり、改修を何度か繰り返しています。この建物の大きな特徴は、4本の大黒柱が真ん中の部屋を囲み、一つの核をつくっていたことです。また外観は、上に銅板を覆っていましたが、茅葺き屋根を保ち、かつての農家の様子を伝えていました。

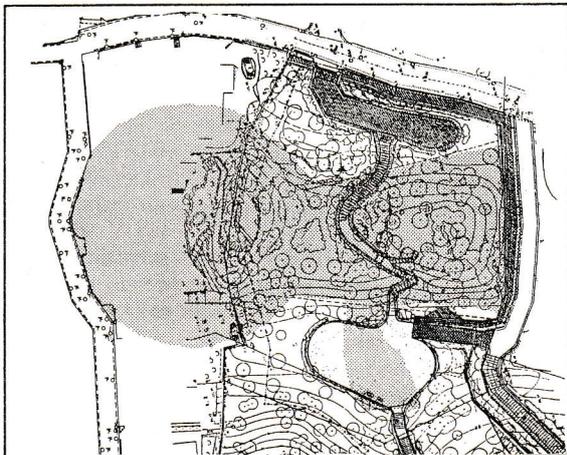


◀図 平成8年度民家調査報告書より

埋蔵文化財発掘調査報告

東京都指定史跡宝萊山古墳調査

宝萊山古墳は、多摩川下流域にける最古の古墳で、南武蔵の中で、後の荏原郡にあたる地域の首長墓ではないかと考えられています。平成7～9年度にかけて多摩川台公園拡張部の公園整備に伴い、古墳の規模・形状・築造年代および保存状態を確認し、その保存・活用をはかることを目的にした発掘調査が行われました。調査の結果、宝萊山古墳は全長97m、後円部径52m、同高さ11m、前方部幅37m、同高さ8mの前方後円墳と推定されました。また、古墳の「くびれ部」付近からは、4世紀前半の土器が多く出土しました。このことから、古墳の築造年代は、



▲「東京都指定史跡宝萊山古墳」より公園整備図

以前から推定されていた4世紀後半から大幅にさかのぼり、4世紀前半に多摩川流域で最初に築造された前方後円墳であることがわかりました。この結果、多摩川下流域の古墳時代の開始は、4世紀前半にさかのぼることになり、大田区だけでなく古代南武蔵、ひいては古代東国の古墳時代を考える上で学術的に有意義な結果を得ました。

この調査により古墳の範囲と墳形が確定したことで、宝萊山古墳は、平成8年3月18日付「東京都指定旧跡」から、「同史跡」へ種別変更されました。現在古墳は多摩川台公園内において整備され、公開されています。

緊急発掘調査

平成9年度に行われた建築等に伴う緊急発掘調査のうち、久が原台地上の遺跡、2件をご紹介します。

◆久が原グリーンハイツ内遺跡調査◆

平成9年3月から7月にかけて、共同住宅の建て替えにともない、発掘調査が行われました。調査の結果、旧石器時代の石器群のほか、弥生時代後期の住居跡が54軒、古墳時代末期の横穴墓群11基などが、発見されました。この調査によって、久ヶ原遺跡の範囲が久が原台地中央部周辺から東南部縁辺際まで及んでいたことや、久が原台地南斜面に分布する横穴墓が、東側台地斜面にまで及んでいたことがわかりました。つまり、久が原台地は先人にとって非常に暮らしやすい場所であったのです。

◆久が原6-9（久ヶ原遺跡）調査◆

平成9年7月から8月にかけて、個人住宅建設に伴う発掘調査が行われました。調査の結果、弥生時代後期の方形周溝墓4基が発見され、各周溝からは久ヶ原式土器が数個体出土したほか、特に4号墓の埋葬施設からは、ガラス玉20個が発見されました。

久ヶ原遺跡は従来から多くの住居跡が発見されていましたが、今回の調査では、そこに暮らした人々の墓地である方形周溝墓の発見により、遺跡の性格を考える上で大変重要な調査になりました。

◆平成9年度埋蔵文化財調査◆

試掘調査のみ5件、発掘届66件
本調査（7件）

- ・中央8-32（十二天遺跡）
- ・久が原5-27（久が原グリーンハイツ内遺跡）
- ・西馬込2-25（大谷・下谷遺跡）
- ・久が原5-23（久ヶ原遺跡）
- ・久が原6-9（久ヶ原遺跡）
- ・山王2-8（山王遺跡）2件

おしらせ

東京文化財ウィーク (11/7~15)

この期間、都内全域で国・都指定文化財が公開されるほか、各市区町村との連携により各種文化財事業を行います。大田区では、次の事業を実施します。

◆ 文化財の公開

① 「日蓮上人入滅の旧跡」

(池上 2-10-5 大坊本行寺)

11月7日~11日 午前9時~午後4時

② 「法華経板木」 (大坊本行寺)

11月7日(土) 午前9時~午後4時

③ 「池上本門寺宝塔」

(池上 1-1-1 池上本門寺)

11月7日~15日 午前9時~午後5時

※なお、10月中旬より「文化財マップ」を文化財係及び郷土博物館で配布します。

◆ 史跡めぐり「池上地区」

▽日時 11月7日(土)午後1時45分~3時45分

▽コース 池上会館→妙見堂(照栄院)→万両塚(永寿院)→あけぼの楼跡→高橋染工場→六郷用水路跡ほか(雨天中止)

▽定員 抽選で100名

▽申込方法 往復ハガキ。参加者全員の住所・氏名・年齢・電話番号を明記。10月20日必着。一枚で複数申込できます。

▽申込先 〒144-8623 大田区教育委員会 社会教育課文化財係 Tel 5744-1449

◆ 講演会

「最近の区内遺跡発掘調査報告」

~十二天遺跡

・久が原グリーンハイツ内遺跡~

▽日時 11月14日(土)午後2時~4時

▽会場 大田区民プラザ 小ホール

▽講師 福田 良(日本考古学協会会員)
小池 聡(同 協会会員)

▽申込方法 往復ハガキ。住所・氏名・年齢・電話番号明記。10月30日必着。

▽申込先 史跡めぐりと同じ

遺跡見学会 (久原小学校内遺跡)

今年度5月より、久原小学校拡張用地内で、埋蔵文化財の発掘調査が行われています。縄文時代や弥生時代の住居跡、土器等が多数出土しています。

▽開催日時 11月29日(日)、1回目 午前10時~、2回目 午後2時~

▽参加方法 直接現地に集合(小雨決行)

▽問合せ先 社会教育課文化財係 Tel 5744-1449

文化財講座が成人学校・区民大学に

平成9年度まで文化財講座として、好評を頂いていた講座でしたが、本年度より、成人学校・区民大学の講座の一環として、開催することになりました。より幅広く区民に文化財を学んで頂き、地域への愛着・生涯学習の一助となることを願っています。

◆ 知っていますか? ◆

文化財係では区内各地域毎に地名の由来や歴史・文化財を紹介したパンフレットを発行しています。また、指定文化財を中心に区内12個所のコースを設定した小冊子「大田の史跡めぐり」を発行するなど、区民の皆様の文化財へのご紹介をしています。また区内の文化財・埋蔵文化財についての調査報告書を発行しています。

お気軽に窓口までお尋ねください。

● 埋蔵文化財包蔵地の確認について ●

区内には文化財保護法による周知の埋蔵文化財包蔵地(今までに分かっている遺跡のある場所)が200カ所以上あります。これらの指定地域で建物を建てようとする場合、事前に区教育委員会を通じ、文化庁への届出が必要です。土木・建築等の工事のご計画がある場合は、まずは遺跡の指定地域かどうか、文化財係までお問い合わせ下さるよう、お願いいたします。